



八ヶ岳まあるい学校

<http://yatsugatakemaaruiyakkou.hatenadiary.jp/entry/2016/11/29/085859>

<https://www.facebook.com/pg/オルタナティブスクール-八ヶ岳まあるい学校-1631787117104481/about/>

ひととことばの対話塾 一般公開募集のお知らせ

新たな時代を生きる子どもたちのために開設された八ヶ岳まあるい学校の基本的理念に沿って、ひととことばの対話塾をプレオープンします。

この塾では、それぞれの興味・関心についての語りあいを通して、自分の考えていることを相手に伝えようとする意志、相手からの反応を寛容に受け止める態度、他者とともにある社会のあり方などについて考える時（とき）と場（ば）をつくれます。

この塾が学校の活動に関心を持つ、多くの方々のための窓口としての役割を果たすことができれば幸いです。（担当：ほそかわひでお）

対象：12歳くらいから、どなたでも（グループでの話し合いに参加できれば10歳くらいからでも可能です。ご相談に応じます）

場所：シュマン・デュ・ボヌール母屋（北杜市長坂町白井沢）

時間：5月連休明けから7月夏休み前までの隔週木曜日 10:30-12:00

（5月11・25日、6月8・15・29日、7月13・27日、できるだけ継続参加をお願いします）

費用：まあるい学校の月謝・チケットに含まれます。

メンバー保護者・一般参加の子供と大人は、一人1回1000円<プレオープン特別価格>。

説明相談会：4月27日（木）10:30-12:00 塾と同じ場所です。

ご都合により日時のご相談に応じます。

お問い合わせ・連絡先：hosokawa@waseda.jp または 080-5544-8145（ほそかわ携帯）





ひととことばの対話塾って何？

ひととことばの対話塾は、“個人が主体として生きることのできる、暮らしやすい社会の実現”をめざしています。そのために、どのような社会でも個人が主体として生きていける“ことばの力”をはぐくむ時と場を提案します。

この塾は、20年以上にわたる早稲田大学での教育研究の成果を、ひろく学習や教育に関心をお持ちのみなさまと共有し、ともにはぐくみながら、いわば、大学と地域・社会を結ぶための実践の場として開設されます。

自分の希望進路をどう選び、どのような仕事についていったらいいのかと迷う若い世代の青少年、学校は出たけれど、現在の生活や仕事などで何となく不満や不安を抱えている人たち、これからの人生のさまざまな局面において危機感を持ち、これを乗り越えるために何かを考えようとしている、すべての方々におすすめてです。

ここでは、参加者全員で、グループ発表やディスカッションそしてレポート記述等の活動を行い、まとめの冊子を作成・刊行・公開します。

1～2回 動機と理由 自分の興味・関心のあるモノ・コト・ヒトなどについて語り、その動機・理由を述べて、グループで話題を交換・共有します。

3～5回 対話と共有 自分の話題をめぐって信頼できる相手と対話し、その内容をグループで交換・共有します。

6～7回 まとめとふりかえり 初めの興味・関心から対話による内容の発見までのプロセスを振り返り、これから、この「私」が、さまざまな他者と、この社会でどのように生きていくのか、そのために、自己・他者・社会にとって何が重要かを考えます。

このような活動実績として、早稲田大学本庄高等学院での実践記録『わたしを語ることばを求めて—表現することへの希望』（牲川波都季・細川英雄、三省堂 2004）、留学生のための総合活動型日本語教育の方法論『考えるための日本語—実践編』（細川英雄・武一美ほか、明石書店 2006）、山梨県北杜市立甲陵高校総合活動文集『わたしの興味とあなたの思い—今の自分を見つめ直す 1冊の本』（2014）などがあります。

担当者紹介：ほそかわひでお（細川英雄）1949年東京生れ。1991年より北杜市在住。博士（教育学）。早稲田大学大学院日本語教育研究科教授を経て、現在、早稲田大学名誉教授。言語文化教育研究所八ヶ岳アカデミア主宰。専門は言語文化教育、自律した個人の主体的な言語生活のあり方をテーマとする。主な著書として『日本語教育は何をめざすか—言語文化活動の理論と実践』（明石書店 2002）・『ことばの市民になる—言語文化教育の思想と実践』（ココ出版 2012）などの他に、エッセイに『薪ストーブのある暮らし—八ヶ岳南麓・森の家から』（筑摩書房 1995、細川たかみと共著）・『土間犬物語—八ヶ岳南麓・薪ストーブのある暮らしから』（沐日社 2008、細川たかみ・もなみと共著）がある。言語文化教育研究所ホームページ：<http://gbki.org/>

